□□□■■□■■■＊−−＊−−＊−−＊−−＊−−＊−−＊−−＊−−＊−−＊−−＊−−＊−−＊−−＊
□□■□■□□■□
□■□■■□□■□　　ALT　TECHNICAL　News　No.274　April　2026

■□■■■■■■□＊−−＊−−＊−−＊−−＊−−＊−−＊−−＊−−＊−−＊−−＊−−＊−−＊−−＊

4月です。桜が咲き、街はようやく春らしい顔を見せ始めました。冬の寒さにも耐え抜き、3月の花粉地獄もなんとか乗り越えました。この時点では、やがてやってくる猛暑のことなどまだ頭にありません。とりあえず今は「外を歩けるだけで幸せ」という、春特有の小さな達成感に浸っていたいところです。
春の陽気に合わせて、散歩するにはとてもいい季節です。冬ごもりの運動不足解消で、桜の木のそばを歩くと、春の香りがふわっと漂ってきます。ところが、時々その中に妙な“生活感”が混ざる瞬間があります。
--なんだこれ、タクワン？
桜の香りにタクワンが混ざるという、どう考えても季節感のバランスがおかしい状況。どこかの団体がそばで宴会をしているわけでもないし、誰かが漬物を落としていったわけでもない。ずっと謎でした。
調べてみると、犯人は桜ではなくヒサカキ（姫榊）という植物。サカキに似た常緑樹で、この時期に小さな白いベル状の花をびっしり咲かせます。そしてこの花、見た目に反してなかなか個性的な香りを放つのです。人によっては「たくあん」「漬物」「ガスっぽい匂い」と感じるらしく、一度そう認識してしまうと、春になるたびに脳が自動で“タクワン警報”を発令するという厄介な特徴があります。
桜の美しさの裏で、タクワンの気配がする春。
花粉が落ち着いたと思ったら、今度は嗅覚への不意打ち。
本当に春は油断できません。
どうぞ、桜とタクワンの間で揺れる複雑な春の空気を、今年もそれなりに楽しんでお過ごしください。

▼ＩＮＤＥＸ▼

【技術関連情報】　・ＬＲＮＢ(長距離伝搬非回折ビーム)
【関連製品紹介】　・近紫外高出力ファイバーレーザー光源
【お知らせ　】　・『ＯＰＩＥ’２６レーザーＥＸＰＯ』に出展します

■技術関連情報■

ＬＲＮＢ(長距離伝搬非回折ビーム)

LRNB (Long-Range Non-Diffracting Beam) とは光の回折を抑え、極めて細いビーム幅を維持したまま長距離を伝搬する特殊なレーザー光のことです。
通常のレーザーは長距離になるほど大気の揺らぎによりビームが歪んだり拡散したりしますがLRNBは周囲の光が常に中心に向かって干渉し続けるため、障害やゆらぎがあってもビームの中心形状を自ら修復し中心部の高いエネルギーを遠方まで維持することができます。
同様に非回折ビームとしてよく知られているベッセルビームと比較してもLRNBは中心部へのエネルギー集中度が高く設計されており、より遠距離での利用に適しています。
　用途としては、ドローンなど離れた場所に電気を送るワイヤレス給電や、人工衛星など遠距離での空間通信などがあり、ケーブルを繋げない遠隔地に対して光のエネルギーや情報を最小限の損失で届けることができるLRNBの研究開発が進められています。
当社でもまだ通常のビームですが１０～１００Wの中出力空間放出形４５０ｎｍレーザー光源をスキャンシステムと共に提供しております、お問い合わせください。

長距離伝搬非回折光ビーム
https://www.jstage.jst.go.jp/article/lsj/32/5/32_5_352/_article/-char/ja/

長距離伝搬非回折光ビーム（LRNB）の生成実験
https://laser-sensing.jp/23thLSS/23th_p_papers/67HP-3.pdf

（河村）

---

■関連製品情報■
　近紫外高出力ファイバーレーザー光源

---

本文でも紹介の様に近紫外高出力ファイバーレーザー光源は色々な分野で使用されています。
こんなことがレーザーでできないか、これをレーザーで測れないかなどございましたらお問い合わせください。

近紫外高出力ファイバーレーザー光源
https://www.alt.co.jp/laser-light-source#ttl-navi11

---

■お知らせ■
『ＯＰＩＥ’２６レーザーＥＸＰＯ』に出展します

---

日時：２０２６年４月２２日（水）～２４日（金）
　　１０時～１７時
場所：パシフィコ横浜　　展示ホールＡ
ブース番号：Ａ０７

展示品：ベクタースキャンプロジェクター
　　スキャンプロジェクター
　　１０～１００Ｗ中出力可視光レーザー光源

入場には事前登録が必要です
https://www.opie.jp/visitors/register/

---